



猛暑が建設業界に突きつけた 未曾有の課題

今年の夏、日本列島は観測史上最も暑い夏に見舞われ、その影響は私たちの日常生活に留まらず、建設業界にも深刻な課題を突きつけました。7月から9月にかけて、全国各地で記録的な猛暑日が続き、建設現場はこれまでにない試練に直面することとなりました。この異常気象は、単に作業の遅延を招くだけでなく、作業員の安全と建設物の品質という、二つの根幹に関わる問題として浮き彫りになりました。



現場の安全確保：熱中症リスクとの闘い

建設現場における最も喫緊の課題は、作業員の命と健康を守ることでした。例年の猛暑対策をはるかに超える対応が求められ、各社は様々な工夫を凝らしました。具体的には、休憩時間の延長や、こまめな水分・塩分補給の徹底はもちろんのこと、科学的な指標に基づいた対策が強化されました。例えば、熱中症リスクを示すWBGT(暑さ指数)計が現場に導入され、一定の基準を超えた場合には作業を中断するなどの厳格なルールが設けられました。さらに、空調服やスポットクーラーの積極的な活用、日差しを避けるための遮蔽物の設置など、物理的な環境改善も進められました。しかし、どれだけ対策を講じても、高温下での肉体労働は作業員の体力を消耗させ、作業効率の低下は避けられませんでした。この経験は、熱中症対策がもはや一時的なキャンペーンではなく、年間を通じた持続的な労働環境改善として定着させるべき課題であることを明確に示しました。

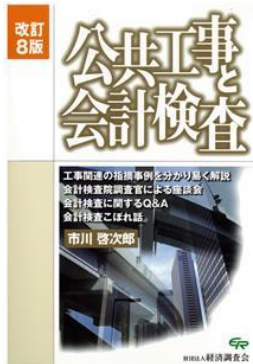
建設物の品質管理：高温がもたらす新たなリスク

猛暑は、現場で働く人だけでなく、建設される建物そのものにも影響を及ぼしました。特にコンクリートの品質管理は、細心の注意が求められる分野です。気温が高いと、コンクリートの打設後、通常よりも速く硬化が始まります。これにより、コンクリート内部の水分が急激に蒸発し、ひび割れ(クラック)が発生しやすくなります。このひび割れは、建物の耐久性や安全性を損なう可能性があるため、品質を維持するための様々な対策が講じられました。涼しい早朝や夕方など、比較的気温の低い時間帯にコンクリート打設の作業を行う「時差施工」が導入されたり、コンクリートの温度上昇を抑制するための特殊な化学混和剤(減水剤など)が検討されたりしました。また、打設後のコンクリートをシートなどで覆い、散水して温度を下げる「養生」の徹底も、品質を確保するために不可欠な工程となりました。

業界全体で求められる適応力と未来への展望

今回の猛暑は、建設業界全体に、気候変動を前提とした新しい働き方と技術開発の必要性を強く認識させました。労働安全衛生法に基づく「職場における熱中症予防対策」などの法的・社会的な指針はありますが、これらはあくまで最低限の基準です。今後は、気候変動に適応した施工計画の根本的な見直しや、猛暑下でも安全かつ効率的に作業できる新しい技術や建材の導入が不可欠になるでしょう。例えば、自動化・省人化技術のさらなる推進や、暑さに強い建材の開発などが挙げられます。この夏の経験を教訓に、私たちの社会基盤を支える建設業界が、いかにしてこの難題を乗り越え、より強靱で持続可能な産業へと変革していくか、今後の動向が注目されます。

会計検査



『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：内部監査の日米格差

「FMS」という言葉をご存じの方は、防衛装備の調達関係に詳しい方だろう。FMS (Foreign Military Sales) には何故か「政府調達援助」という定訳がある。しかし、実際はアメリカ合衆国が外国に政府間ベースで武器を販売するれっきとした「販売」のことである。我が国防衛省もイージス艦の装備品や、ミサイル等、主要兵器の一部をこのFMSにより調達している。防衛省の検査に携わっていた頃、このFMS調達の検査の一環として、アメリカ合衆国国防省の内部監査組織を訪問する機会があった。

アメリカ合衆国政府の各省には、監察総監と呼ばれる監査官をトップとする内部の監査機関が設置されている。内部監査といっても組織の独立性は保障され、職員数、権限等、どれをとっても、我が国とはあらゆる面で大きな違いがある。まして、兵器や衣料、食糧などの調達数量、その種類の多さで際立つ国防省においてはなおさらである。

アメリカ合衆国の会計検査院(GAO)も、不正事項や財務諸表の監査などは、この監察総監に大きく依存している。そこまでの状況については、事前の調査である程度分かっていたことだが、相手の担当者が雄弁に説明を続けていくにしたがって、我々調査団の中でも「へ～、これは凄い」「そこまでやるのか」「そんな権限もあるのか」という感想が次々に漏れてきた。最後に、彼らには何と、逮捕までを行使する権限が付与されていることが披露され、我々の驚きはピークに達した。

「何かご質問はありますか？」との問いに、後ろでさっと手を上げたのは、何と、防衛省から我々に同行していた、まさに内部監査の担当者だった。それまで、無言を通していた彼は、一転、顔を紅潮させながらこう言い放って、その日の訪問をまとめてしまった。

「私は日本の防衛省の内部監査の一人として、日本に帰ってからも今日の話をお忘れず、努力していく所存です。本当にありがとうございました」

その日の彼の驚きと感動は、内部監査の本当の実務を知らない我々にとっては、計り知れない大きなものだったのだろう。(A)



レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◇ T-K水路 ◇◆



こんにちは！
ライオン通信のレオちゃんです☆

今月は、大型フリーフォーム『T-K水路』のご紹介です。

T-K水路は、主に荷重がかからない農場内や田畑、造成地などに使用される用水路・排水路です。
大型なので、経済性・施工性・工期短縮に優れています！

今月は、特長と施工事例をご紹介します！
是非ご検討下さい^^♪

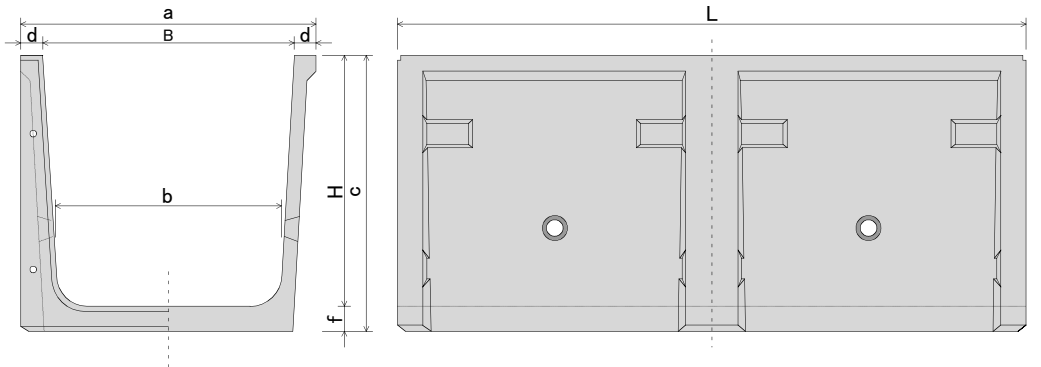
特長

- ◆ 基礎コンクリートなどの現場打ちが不要になるので、工期短縮・施工性に優れている大型水路です。
- ◆ 設計荷重は、T-14(140)です。
- ◆ ブロック相互はボルト締めで強固に接合されます。
- ◆ 側面にある円孔は水抜きと吊穴兼用になっています。
- ◆ 円孔があることで効率のよい排水が可能です。
- ◆ 円孔が多数あるタイプも製造可能で、より効率的に排水することができます。



☆☆ 規格寸法 ☆☆

高さ (mm) (H)	内幅 (mm) (B)	長さ (mm) (L)	参考重量 (kg)
500	400~1000	2000	328~487
600	600~1200		437~686
700	700~1400		498~800
800	800~1600		642~1064
900	900~1800		725~1255
1000	1000~2000		858~1505



各規格の詳細寸法は、カタログをご覧ください♪



◀ 施工中

☆☆ 施工歩掛り(10mあたり) ☆☆

名称	規格	製品重量(kg)				単位
		300~550	550~1000	1000~1300	1300~1600	
T-K水路		5.0				個
世話人		0.2	0.3		0.4	人
普通作業員		0.8	1.1	1.3	1.5	人
特殊作業員		0.2	0.3	0.4	0.5	人
トラッククレーン	4.8~4.9t吊	0.2	0.3			日
諸雑費		2.0				%

施工事例

納入場所：鳥取市国府町
規格：H700×B700



▲R部は製品の間現場打ちコンクリートを施工し、角度をつけています。



約 100m施工されました！

納入場所：岩美郡岩美町
規格：H900×B800

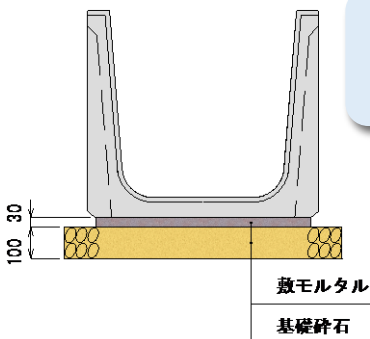


既設の水路に合流するように施工されました。

納入場所：八頭郡八頭町
規格：H800×B1300



田畑の周りに施工されているので、一度に多くの水を供給することができます。



基礎コンクリートなどの現場打ちが不要になるので、工期短縮になります！



◀ 基礎構造図

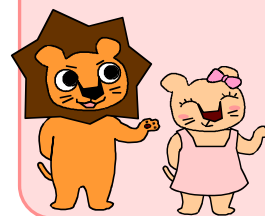
◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: **0858-73-0500**

までお気軽にどうぞ！

FAX: **0858-73-0535**

E-mail : info@kooge.co



▽▽ 編集後記 ▽▽



厳しかった酷暑もようやく落ち着き、秋らしい空気を感じられるようになりました。今年暑さの影響で、お米や果物の収穫量が減り、価格が上がったというニュースもよく耳にします。自然の厳しさを思い知らされますが、それでも新米の香りや秋の果物の甘さに、やっぱり季節の恵みを感じてホッとしますね。現場もまた、厳しい気候に工夫を重ねながら日々を乗り越えています。来年はもっと穏やかな気候と、実り豊かな秋を迎えられることを願っています。朝夜の寒暖差も大きくなっていきますので、皆様体調に気を付けて、食欲の秋をお楽しみください。
(土田)

<URL> <https://kooge.co/>

<e-mail> info@kooge.co